

小池としあき市政レポート

令和3年4月10日発行

小池としあき 〒417-0001 富士市今泉 2305-5

TEL: 52-5453 FAX: 69-1129

ホームページ: <https://www.koike473.com/>

Email: koike473@ab.thn.ne.jp

正々堂々



小池としあきが、2月定例議会で、47回目の一般質問に臨みました！

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大に関し、クラスター発生はあったものの中央病院が担っている広域的な役割りと、富士医療圏(富士市・富士宮市)における富士宮市との連携について、市長の考え方を質すとともに提案を行いました。

質問 1・・・コロナ感染症対策の重点医療機関としての中央病院の実績、他の病院との連携は？

① 中央病院は、昨年8月に主に中等症以上の患者を受け入れる「重点医療機関」に指定されたが、どういう考え方で指定を受け、患者を受け入れて来たのか？

→(市長) 中央病院は地域の基幹病院であり、市民に安心して生活してもらう上での「最後の砦」として責任ある医療機関である。コロナ対策に立ち向かっていく上で、重点医療機関以外の選択肢は考えられなかった。富士保健所が調整役となり、2月末までに計158人の感染患者を受け入れ、居住市町別では富士市113人、富士宮市24人、沼津市3人、熱海市6人、県東部4人、県外8人が入院した。その約2/3が肺炎で呼吸器管理(人工呼吸器)を必要とする中等症以上の患者で、対症療法による治療を行っている。

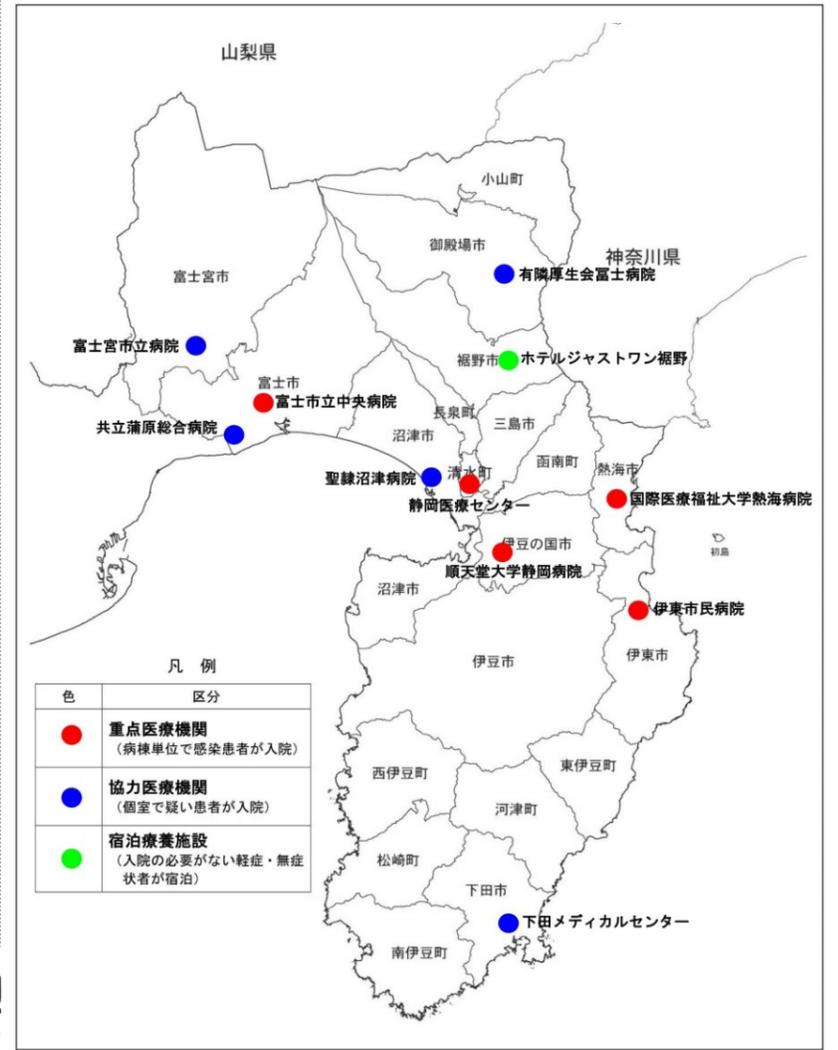
② 中央病院が中心となり一昨年設置した「富士市病院相互連携会議」等では、他の公立病院、民間病院等との間で、病床確保、患者受入れ等の調整、いわゆる「後方支援＝病病連携」は、どう行っているのか？

→(市長) 中央病院に負担をかけないようにするため、救急患者の受入れや、急性期から回復期へ移行する患者の転院の早期受入れ等について、他の病院、医師会等から協力いただいている。

(再質問) それは、下図で言う「縦の病病連携」ではなく、「横の病病連携」ということか？

→(市長) その通りです。

静岡県東部地域の新型コロナ重点医療機関・協力医療機関位置図

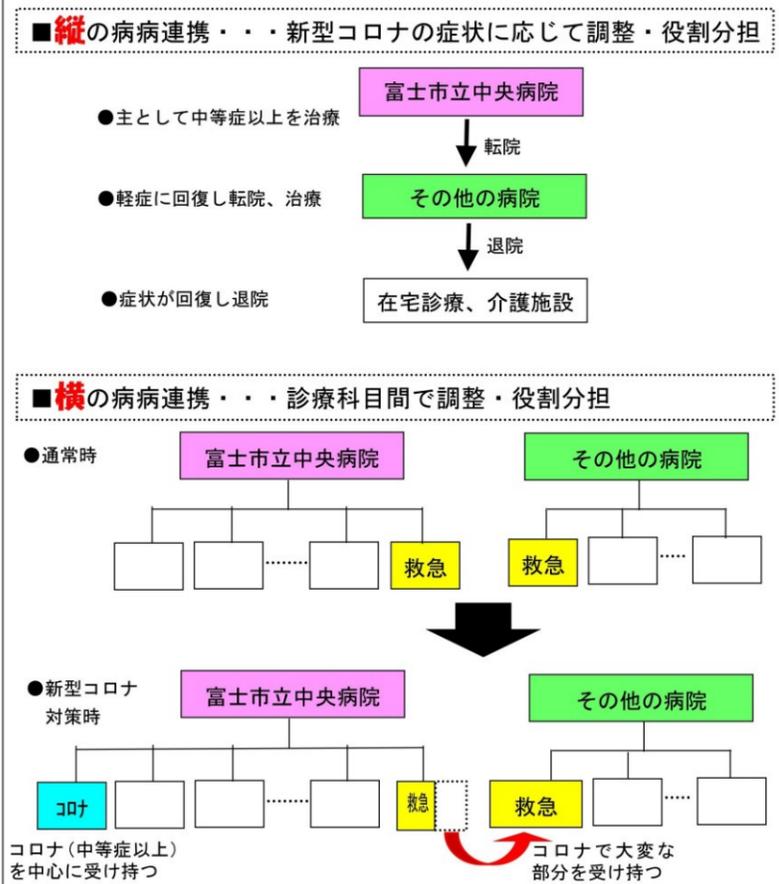


新型コロナに関する「病病連携」(後方支援)のパターン

●今回の一般質問では、胸にシトラスリボンを付けて登壇しました (写真提供: 「日刊富士」様)



「シトラスリボンプロジェクト」は、新型コロナの患者やその家族、医療従事者、またエッセンシャルワーカーや外国人などへの差別や偏見の防止を目的とし、3つの輪で形づくられたシトラスリボンが活動のシンボルです。



質問 2・・・中央病院が果たしてきた広域的な役割り、頑張りを市長の口から市民に伝えるべきでは？

① コロナ感染症のことで不安を感じている市民に、以下の2点を市長の口から伝えるべきではないか？

- 中央病院は、中等症以上の患者を、市内だけでなく、市外からも多く受入れ、富士医療圏だけでなく、より広域における拠点病院として頑張っていること
- 中央病院がコロナで手薄になった分、救急や他の病気は、市内外の他の病院に役割分担してもらうことで地域の医療体制は維持できていること

これらを、例えば3月の市長定例記者会見等の場で伝えるべきでは？

→(市長) 2つのことは非常に重要なことと考える。タイミングを考えながら、しっかり市民の皆さんに伝えていくことを考えたい

質問 3・富士宮市長と富士医療圏のあり方を考え、連携を確認するトップ協議を行うべきではないか？

① クラスタが発生した中でも富士医療圏の医療体制は維持できた。点数を付ければ 100 点満点で 80 点取れているかもしれない。しかし心配していたインフルエンザが流行し、コロナとのダブルパンチだったらどうだったか？あるいは今後、別の感染症等が発生した時にどう備えるのか？

「80 点を 100 点に近づけるために、近隣の公立病院が協力して体制を作りましょう」と富士市長が声を上げ、富士宮市長に呼びかけ行動し、その姿を見せることが、市民に安心感を与え、事務方もより動きやすくなるのではないかと？

→(市長) これまでトップ協議を行ってこなかったのは、(医療関係者等の) 専門職、事務方による既存の会議で機能していると考えていたからである。しかしトップが顔を合わせることでより医療圏の結束力が高まり、安心感が得られるならば、そうすべきだったと反省している。今後は機会があればしっかり対応したい。

(再提案) 中核市移行検討に関しては「保健所設置は検討する段階ではない」と私も思うが、そうであるなら尚更のこと、医療圏を構成する 2 市が協議し、まとまらなければいけないと思う。そうしたリーダーシップを取ることが、制度上の中核市にはならなくとも、確かに県内第 3 位の拠点都市だと市民が感じ、安心すると思う。

連携体制のより強化に向け、トップ協議を行っていただきたい。

■富士医療圏のあり方を考える富士市・富士宮市のトップ協議



12~3月の活動 …マスクを外せない日々が続きますが、「明けない夜はない」と信じ、今は「我慢！我慢！」です！



「ありがとう富士製パン アート&手紙コンクール」(3/27) …70年にわたり学校給食のパンやお花見ウォークのコースをソロウォーク(3/27) …東田子の浦駅から沼川、滝川、田宿川沿いを、行く8kmのコースです。岳鉄はサクラ電車ですが、本物のサクラはまだ2~3分咲きでした！